

# いっぽ だより

はじめのいっぽ弥生

2020年2月28日

世界中に広がりつつある”新型コロナウイルス”も、道内では54人と感染者が増え北海道知事より各市町村長に学校の臨時休校が要請され、帯広市及び近隣小中学校が2月27日から3月4日まで臨時休校となりました。(2/26現在)

当事業所も感染の流行を早期に終息する為、学校に準じて開所以来初めて1週間の休所と苦渋の決断を致しました。

目に見えないだけに恐ろしいウイルス!!

“日常的に早く寝る!!” “体に優しい食事をする!!” など、規則正しい生活に心がけ体の免疫力を高めることが何よりも大切かと思えます。

正しい情報を見極め動揺することなく、手洗い・うがいの他、朝晩の検温など体調管理を行い、この非常事態を乗り越えて行きましょう。



早くみんなで遊びたいね!

## 今月の予定

日 時	行 事
3月5日(木)、10日(火)	未就学児リトミック
3月19日(木)	親子でいっぽ(幼児さん) 旅立ちの日お祝い会
3月23日(月)	あちこち紙芝居
3月25日(水)	旅立ちの会(小中学生)

## 2月の報告

### その1

2月4日（火）北海道による監査が行われ、結果はおおむね良好に終わりました。

午後2：00～4：00までの幼稚園児の利用については、運営規定に明記されていない旨、指導があり幼稚園児の受け入れを当面中止しております事、お知らせいたします。

### その2

2月13日（木）18：00～

帯広市より「家庭生活支援員研修」の講師を依頼され、監査の準備と講演会資料作りと、頭の中はぐちゃぐちゃの日々でしたが、無事終了することが出来ました。

テーマは、「子どもへの理解・関わり方」

～ はじめのいっぽの実践から ～

一部資料添付します。

外部へ発信することは多くても、足元での講演会は今までしたことがなかった・・・と反省し、2月14日（金）の親子でいっぽの時に、未就学児のお母さんに講演会内容の一部を伝えることが出来ました。

子育て、急がなくて大丈夫 !!。

貴重な“今”を、たのしんでほしい !!。

富士山の頂上を目指すにも

新幹線でビューと通り過ぎる方法、

鈍行列車でのんびり景色をながめる方法

草や花自然に向き合いながら、ゆっくり行く方法

ゆっくり、じっくり、ていねいにの、子育てを楽しんでほしいなと伝えました。



## ～ みそ造りの思い ～



私の母は、畑で野菜を作り、漬物・味噌・梅干し・・・などの加工食品は全て手作りで、一年分の、車に乗せきれないほどの食料を用意してくれました。

生意気な私は、「買えば何でもあるから・・・」と感謝も言わずにいた当時を思い出します。



約20年前、母が亡くなってから「買った味噌の味が違う!!」と衝撃を受け、その後自分で作るしかないと思われ、みそ造りに挑戦。大豆を洗っていると

♪ゲラゲラ 笑っているみたい♪

「麹菌もあったかくて気持ちいい・・・」自分で経験すると楽しかった話を当時の年長児の担任に伝えると「子どもたちと一緒にやってみたい」との事、早速、準備を行い、子どもに興味・関心を深めたくて「生大豆と「水に浸した大豆」をお皿に入れ、玄関に置いておき、約1週間後「ワァ～大豆から芽が出ている!!」と子どもたち自ら気づき大歓声・・・

“食べ物は生きているんだ”と実感し食べものの大切さを教え、みそ造りの関心が高まり当日の様子を地元の紙面に紹介され食育の大切さを伝える機会が数多くありました。

はじめのいっぽでは、あえて・すり鉢・すりこぎ棒を使い、大豆を丁寧にすりつぶし、日本文化を継承すると同時に、手足を使い働くことが脳への心地よい刺激となり、脳を活性化させると信じ今後も続けていきます。



20年前の、初めてのみそ造り



去年仕込んだお味噌で豚汁をいただきました。

“来年度は、親子一緒に、みそ造りをしよう!!”と今から計画中です。“

家庭生活支援員研修

## 子どもへの理解・関わり方 ～はじめのいっぽの実践から～



NPO法人 はじめのいっぽ  
管理者 石橋 わか子

令和 2年 2月13日(木)

### 1. 将来社会で生き抜くために

人が人を育てる責任を感じ、「食育」、「体育」、「知育」、「徳育」と総合的な関りを深めています。

**知育** 「読み」「書き」「計算」の大切さ

手作りビンゴなどで遊びの中で獲得

数の概念はおやつ準備から

**体育** みんなで意見を発表し合い、相談、計画、協力してスケートリンクを

完成させる。汗水を流しての達成感！！

**徳育** 人のためにできることは何か、自ら考える。

幼児から中学生まで異年齢交流にて心が育まれる。

**食育**

① “人を良くする”と書いて食

② 食事は健康に生きるためのバロメーター

③ 手塩にかけ作り、心も体も満たされる食事を・・・

④ 手抜きをすれば心が育たない

⑤ だしのをとる時の匂いや素材の匂いが漂って、食に興味をもち食べ物への関心が深まる

⑥ まごわやさしいとは・・・

⑦ 主食、みそ汁、漬物（3点セット）。主食は全体を食べる玄米が理想。

## 2、子育てはゆっくり、じっくり、丁寧に！！

○2歳のお子さん、早く保育園に入れたい。

生まれてたった2歳の子供に、「早く自立を！」と願う親心。

一方で、その親心に不安を抱く子どもの姿。

～生まれてきてくれてありがとう～

子どもが生まれ感激の涙を流し、初めて笑ってくれた時の感動。

みんな生まれてきた時は平等にかわいい天使！！

月日の流れとともに“早く寝返り”、“早く座って”、“歩いて”・・・と子育てを

急ぎすぎ。

本来楽しいはずの子育てが辛くなる時もあるのでは・・・

“辛い”と思うより、見方を変え“幸せ”と感じる貴重な時間を過ごしてほしい。

○言葉がまったく出ない3歳の男児

3月中旬、屋根より雪解けの水がフライパンに♪ポツタン、ポツタン♪

ある日突然の発語「春の音だね」、「♪音楽みたいだね・・・♪」

“ゆっくり、じっくり、待つ”ことを教えてくれました。

『富士山の頂上を目指すにも、色々な方法がある。』

## 3、自分で工夫して生きる力を！！

～一昨年、胆振東部地震から学んだこと～

○電気が使えないを教訓に自分たちでできることを話し合う。

○散策、探索の大好きな子どもたちは日常的に枯れ木や石を集め、「何かできないか」と工夫することが大好き。

○ガスや電気が使えない時どうする？みんなで考え、相談し工夫する力を育みました。

○今ある食材で何が作れるか。

○かまど作り～微妙な石の並べ方、組み方で鍋の安定感を保つため何度も失敗を経験し、薪を入れて点火。

○頭で考え、みんなで相談し、協力し、手足を使い、働くことの喜びや大切さを知り、脳の活性化となりました。

